



人とつながる 社会とつながる クルマはもっと進化する

第8回 **大阪モーターショー**  
OSAKA MOTOR SHOW

# エコカーと暮らしの未来ゾーン 特別展示ブース協賛出展のご案内

2013年8月

立命館大学  
デザイン科学研究センター  
Design Management Lab

## 企業コラボレーションの可視化で、イノベーションを創出する

読売新聞大阪本社などの主催で2年に一度開催される、西日本最大級のモーターイベント「大阪モーターショー」。  
注目のコンセプトカー（未来車）をはじめ、自動車関連の最新展示はもちろん、多彩なステージイベントや観光・グルメなど地域ならではの関連コンテンツも充実。自動車ファンのみならず、ファミリーはじめ多くの層から支持を得ており、**イベント4日間で30万人超の動員**をめざします。

この度、大阪モーターショーの「エコカーと暮らしの未来ゾーン」内に、「立命館大学デザイン科学研究センターDMLプロデュースの特別ブース」を展開致します。

本ブースでは、電気自動車（EV）をきっかけに近未来のスマートタウンを展示します。**既成概念にしばられないため、規定事項はこの1つのみ。**

ここから先は、**企業同士のコラボレーションの連鎖**による展開です。

単に一企業が自社商品単体での展示・PRを行うのではなく、それぞれの企業がそれぞれの持ち物をお互いに出し合っ、街をかたちづくっていくことをめざします。例えば、EVをきっかけに、EVパワーステーション、住宅、ソーラーパネル、太陽光発電用パワーコンディショナなど**自社商品をひとつの街の中で見える形で表現**し、こうした街には将来的にあるであろう、小型モビリティやロボット、通信などを扱う企業にも参画いただくなどを想定しています。

その際に、**各企業のブリッジの役割を果たすのが、DML・八重樫事務局長**。協賛各社による**全体ミーティング**を行い、協賛社同志で意見を出し合い、新たな展示スタイルを検討し、事務局長が総合プロデュースを行います。

まずは、「**なにを展示・PRしたいのか**」をお聞かせください。

そこから先は、DMLによるプロデュースと協賛社ミーティングにより、企業単体では考えられていなかった見せ方を一緒に創出していきましょう。



### エコカーと暮らしの未来ゾーン



☆協賛各社とミーティング  
☆DML・八重樫事務局長  
プロデュース



ひとつの形として展示  
コラボレーションを可視化  
イノベーション創出

## 【第8回 大阪モーターショー】について

西日本最大規模のモーターイベントとして、2年に1回実施。  
4日間で約30万人が来場し、幅広い世代から支持されています。

■名称 : 第8回大阪モーターショー

■テーマ : 人とつながる 社会とつながる クルマはもっと進化する

■会期 : 2013年12月20日(金)～23日(月・祝)

20日 午前10時～午後6時  
21日・22日 午前9時30分～午後6時  
23日 午前9時30分～午後5時

■会場 : インテックス大阪(大阪市住之江区南港北)

■主催 : 大阪モーターショー実行委員会  
<構成>

(一社)日本自動車販売協会連合会大阪府支部、日本自動車輸入組合、読売新聞大阪本社、日刊自動車新聞社、テレビ大阪(順不同)

■後援 : 近畿経済産業局、近畿運輸局、近畿総合通信局、近畿地方整備局、近畿管区警察局、大阪府、大阪市、関西経済連合会、FM各局ほか ※前回実績

■来場者目標: 32万人

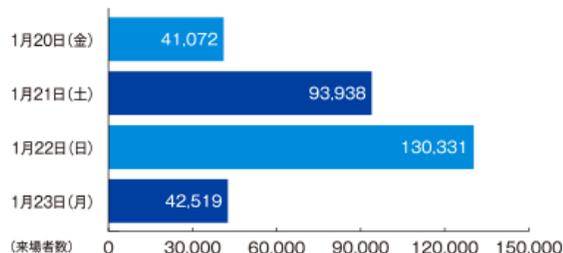
■入場料 大人1,500円、小学生700円 ※前回実績

■出展社 約180社・団体 ※前回実績

■出展台数 約220台 ※前回実績

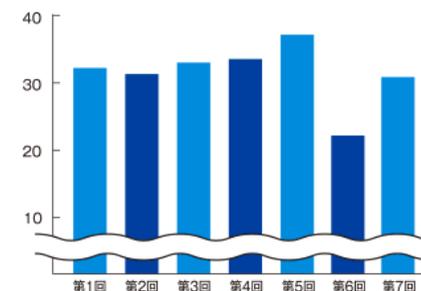
### ○ 第7回実績

- ・総出展者数 ..... 251社・団体
- ・出展車両台数 ... 244台
- ・来場者数 ..... 307,860人



### ○ 過去7回来場者実績

- ・第1回.....314,577人
- ・第2回.....309,912人
- ・第3回.....326,274人
- ・第4回.....330,730人
- ・第5回.....372,542人
- ・第6回.....224,767人
- ・第7回.....307,860人



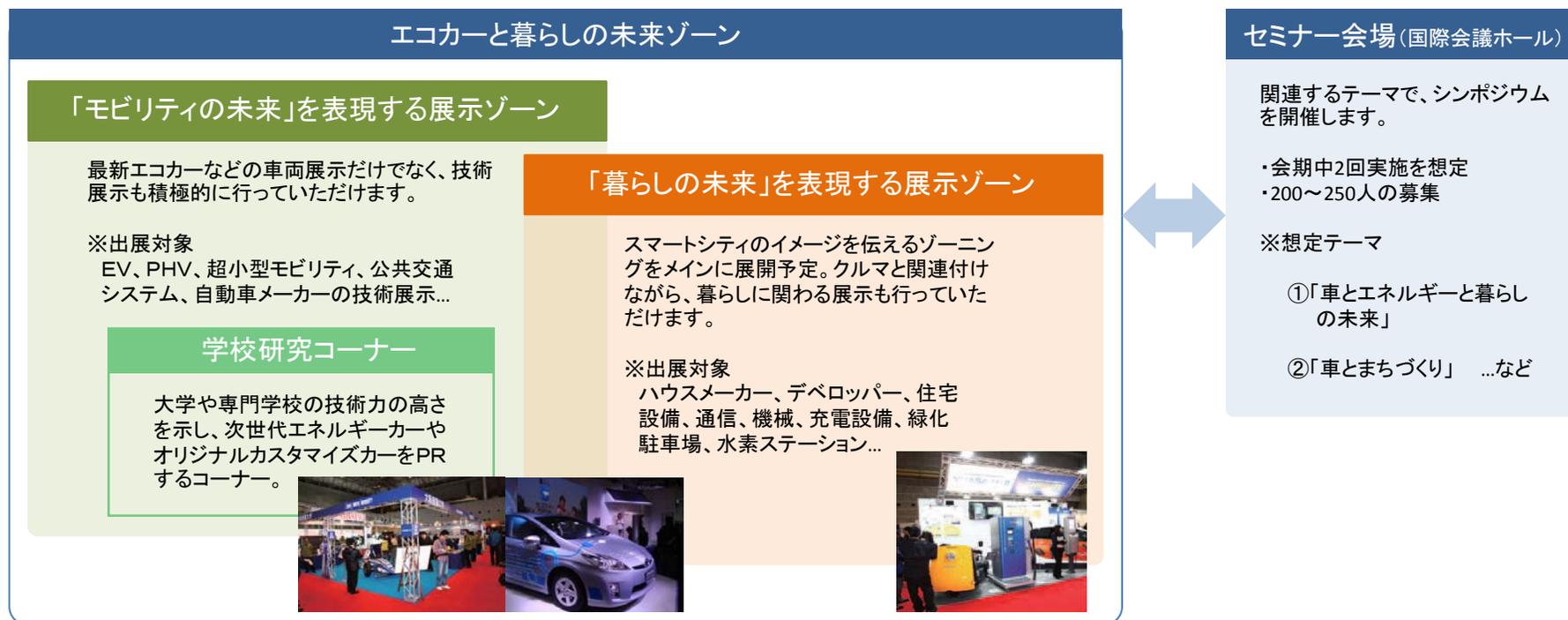
※写真は前回展より

## 【エコカーと暮らしの未来ゾーン】について

「エコカーと暮らしの未来ゾーン」は昨年の第7回から実施された、車と暮らし、エネルギーの関係を楽しく分かりやすく紹介するエリアです。

普及が進む電気自動車(EV)が、太陽光発電など家庭で作られた再生可能エネルギーの蓄電装置としての役割も期待されるなど、クルマと暮らしとの関係はますます密接になってきています。このゾーンでは、最新のエコカーの取り組みや、エネルギーと暮らしの未来に関する展示、関連の最新機器・部品・用品のPR展示が行なわれます。

### ■ゾーン構成イメージ



※写真は前回展より

## 【DMLプロデュース特別ブース】について：展示イメージ

企業単位での展示ではなく、多企業が連合した近未来のまちを体感できる特別ブースでは、集客力の高さ、ブース滞在時間の長さが期待できます。

また、ステージを設けてイベントを開催したり、接客ブースを設けることで、より一層集客効果を高め、効率よく製品やサービス・ブランドをPRいただけます。

さらに、来場者と企業との“つながりの場”として、就活や商談にご活用いただけるミーティングブースの設置も可能です。

これらの展開は、各社の「なにを展示・PRしたいのか」をもとに、ミーティング、プロデュースしていく過程でビッグピクチャーを描き、皆さんと一緒に創りあげていきます。

▼充電インフラ(設備)



▲パネル展示で理解を深めることが可能です

▼ソーラーパネル



▼スマートハウスなどの訴求も可能です。



※写真は参考にしていただくためのイメージです

Copyright © 2013 DML All Rights Reserved.



▲レゴブロックで「未来の街」を作り中央で展示します。



▼ステージを活用してイベントや、セミナーを行なっていただけます。



▼蓄電池や燃料電池



▲自動車ディーラー



▲商談や就活対応も可能です



▲電動二輪車など

※写真は参考にしていただくためのイメージです

Copyright © 2013 DML All Rights Reserved.

## 【立命館大学デザイン科学研究センター Design Management Lab】について

八重樫准教授を事務局長とし、立命館大学デザイン科学研究センターに設立された研究機関。

従来の狭義の技術的イノベーションだけではなく、未来への持続的な社会を拓くための社会的イノベーションのキーコンセプトである「デザインの知」。

その「デザインの知」を組織の経営戦略やイノベーションにおいて活用していく「デザインマネジメント」の体系的な研究の実現を目指している。

また、電気自動車普及協議会(APEV)、株式会社自動車新聞社とともに、関西地区の産・官・学が集まり、EVに関連する社会的イノベーションについて情報交流を行う「関西EVイノベーション・ネットワーク会議」を主催。EVのより安心・安全な普及とEV関連産業の発展促進を目指している。

立命館大学 デザイン科学研究センター

# Design Science

「あるもの」の探求から、「あるべきもの」の探求へ。



## 関西EVイノベーション・ネットワーク会議

月1回程度の開催予定。各回、話題提供者による事例紹介・議論内容の提供と、それをもとにした参加者間でのディスカッションを行い、EVに関する知識と人のネットワークづくりを推進している。

主催

- 立命館大学デザイン科学研究センターDML (Design Management Lab)
- 電気自動車普及協議会(APEV)
- 地域コンソーシアム委員会関西ブロック
- 株式会社自動車新聞社

後援

- 株式会社ベネッセホールディングス
- 株式会社内田洋行
- 兵庫ベンダ工業株式会社
- 株式会社ミサワホーム総合研究所
- 読売連合広告社



八重樫 文 (YAEGASHI Kazaru)  
立命館大学  
デザイン科学研究センター  
DML事務局長



### 【Profile】

武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業、東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。デザイン事務所勤務、武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科教務補助員、デザイン情報学科助手、非常勤講師を経て、2005年福山大学人間文化学部人間文化学科メディアコミュニケーションコース専任講師、2007年立命館大学経営学部環境・デザイン・インスティテュート准教授、2012年より現在に至る

## 【スケジュール】 について

- ◆8月23日(金) … コマ数決定(全体像)
- ◆8月30日(金) … 申込締切
- ◆9月中旬 … 第1回全体ミーティング(ご協賛企業参加)
- ◆10月中旬 … 第2回全体ミーティング(ご協賛企業参加)
- ◆11月上旬 … ブース内制作物発注
- ◆11月中旬 … 第3回全体ミーティング(ご協賛企業参加)
- ◆12月20日(金)～23日(月・祝) … 大阪モーターショー開催